

2021年 LDサポート・療育サポート・療育ソラアルSSE・PIA 放課後等デイサービス・児童発達支援ガイドライン自己評価表 まとめ

2021年2月25日

LDサポート・療育 ソラアルSSE
ソラアルPIA

(目的)

指定の保護者アンケートの結果より、当事業所のサービス提供上の満足度・不満足度および課題(改善目標)を抽出する。

(アンケート回収状況)

利用者への個人負担請求書にアンケートの趣旨・記入表を同封し、記入をお願いする。請求発生児童保護者ソラアルSSE全51名、ソラアルPIA全21名(SSEと両利用者)へのアンケート用紙配布。

(回収)	●ソラアルSSE	放デイ	17通
	●	//	児童発達支援 4通
	●ソラアルPIA	放デイ	17通(SSEと両利用者)
	●	//	児発達支援 0通(利用者なしのため)

(項目別の結果と課題)

A.【環境・体制整備面】

スペース・専門性・設備の安全性(①②③)に関して、放デイについてはほぼ好意的な評価を頂けた。児発に関しては、一部「どちらとも言えない」の指摘がある。「安全性配慮」に関しては、児童発達で、1通「どちらとも言えない」を頂き、どのような点なのか確認が必要である。

周囲の環境面に関しては、駅までの明るい道順での送迎の徹底を図っており、駅前交番への事業所周知の継続などもあり、コメント面での不安意見は見られなかった。

B.【適切な支援の提供面】

放デイについて、「サービス計画」(④)、「活動プログラムの工夫」(⑤)に関しては、放デイ・児発とも特に不満点はなし。各種関係についても概ね不満はないが、そもそも連携の趣旨自体の説明等が不十分さと、連携の必要なしとの要素が見られた(放デイ・2/17通、児発2/4通)。

登録利用者との人数対比で、全利用に対して継続的・専属的な対応の困難さがあるが、提携クリニックや、学校、進学への関係実績など確実に件数は増加しており、匿名での内容面の掲示・告知などの手段は必要かも知れない。

C.【保護者への説明等の面】

大きく目立ったのは、「保護者同士の連携」(⑩)での「どちらとも言えない」回答である(同・5/17通、児発・2/4通、アンケート時及び前年は、ほぼコロナ禍の最中であり、改まった保護者会等は行っていないためと考えられる。

また児童発達に関して、「意思疎通や情報伝達のための配慮」(⑫・・・「どちらともいえない」児発3/4通)が目立った。児童発達は、個別での療育活動が中心のため、対応するスタッフの固定化が理由だと考えられるが、前年の結果に引き続きのため、検討が必要である。

D.【非常時等の対応面】

非常時・緊急時の説明(⑮)は「どちらとも」が放デイ・3/17通、「いいえ」を入れて児発3/4通。所内掲示はしているが、改めて説明用チラシの作成と配布、HPでの掲示が必要かも知れない。

今回、新たに1項目とした感染症配慮に関して(⑯)は、「どちらともいえない」が、放デイ0/17通、児発1/4通となり、ほぼ対策の認知がされていると考えられる。

E.【満足度面】

子どもの通所楽しみ(⑰)は、「はい」が放デイ17/17通、児発 $\frac{3}{4}$ 通の回答で、概ね満足があると思われる。15時以降の最大利用人数に空きがない状況で利用時間をかなり慎重に行っていること、また個別利用の必要な特性を配慮しての午前中時間設定など、処置法には引き続きの注意を心がけたい。

※ 別設問として「2018年以降の利用希望」を設けているが、ほぼ、「利用継続」の回答。

【まとめ】

当施設が第一義で考えている「子どもが楽しみに通所しながら向上してゆく」に関する評価は得られているように見受けられる。

昨年の調査結果より、主に保護者の方個々とのコミュニケーション面のへ配慮や運営説明(こちらは掲示やお知らせ配布などの別手段が必要かも知れない)等を注意してきたが、コロナ禍での問題等もあり、今一度課題が浮き彫りになった格好である